

# JM (1/80,G=13.0mm)の名称について

日本のモデラーの多くは、「Oゲージ」「HOゲージ」などOOゲージと表現することが多いようです。この使い方は、「ゲージ(gauge)=標準寸法、測定、軌間(鉄道)」という言葉本来の意味ではなく、「ゲージ=鉄道模型」という感覚で捉えているように思えます。これらは、きちんと定義付けをされていないまま使われています。

鉄道模型先進国である欧米では、1footを7.0mmに縮尺した「O」、その半分1footを3.5mmに縮尺(1/87)した「HO」(Half of「O」)、そして「N」1/160が普及しています。

日本の鉄道模型の歴史が日本固有の1/80,G=16.5mmというものを生み、工業技術が進歩し、模型が小型化した「N」も日本型は1/150,G=9.0mmと規格化され、多くの方が楽しまれています。

TMSを主催した山崎喜陽氏が1/76(英国の「OO」)~1/87(HO)あたりの軌間16.5mmで走る鉄道模型を「16番」と一括りにして呼んだ記述があり、1/80,G=16.5mmを「16番」と呼ぶ方もいます。しかし、日本で普及している1/80,G=16.5mmに定義された名称はありません。

1/80の縮尺なら、3'6"の国鉄(日本国有鉄道、現:JR)は軌間は約13.0mmになり、何となく「13mmゲージ」と称されてきました。1/80,G=13.0mmのスケールモデルを自称するプロト・サーティーンクラブでも「13mmゲージ」と使ってきました。

クラブ結成から30年が過ぎ、冒頭のように「OOゲージ」からは卒業しようと「1/80」に固有の名称を付けました。「JM」です。名称の由来と定義は以下のとおりです。

「13mmゲージ」のローマ字表記、**J**yuusann **M**iriの頭文字から「JM」と標記し、その定義は、『縮尺1/80、日本での主流3'6"=1067mmをG=13mm』とします。世界の標準1435mmなど(京王・都営も含め)広いモノは「JM h」(h=hirooi=広い・標準軌)としG=18mm。西大寺(914mm以下)狭いモノは「JM k」(k=keiben=軽便)とし、G=9mm。更に狭いモノは「JM s」(s=sangyouyou=産業用)とし、G=6.5mmの3つの軌間に分類します。

## JM (1/80)

区分	名称	letter	一般ゲージ	実車のゲージ区分
標準軌	JM h	h	18.0mm	1,250mm以上
狭軌	JM	—	13.0mm	1,250mm未満
軽便	JM k	k	9.0mm	920mm未満
産業	JM s	s	6.5mm	620mm未満

注) JMは、縮尺1/80のname of uni-scaleです。「車体1/80、軌間1/64」は該当しません。

ゲージ論や標記には一家言をお持ちの方が多数いらっしゃいます。1/80,G=16.5mmの名称が未だに確立されないのも頷けます。

幸い 1/80,G=13.0mm の人口は極少数です。更に30年以上1/80,G=13.0mmを標榜して来たクラブとして認知されていることを利用し、繋がりのある方からは概ね了解

されています。自分たちが楽しんでいるものに自ら名称を付けようという試みです。

12mmと同じ頭文字ですが、HO mあるいは、HO1067、HOn3 1/2となるので別標記になります。

安易なネーミングですが、ムシコナーズ、ナイトールなどの商品名と同様、分かりやすいものと思います。

**プロト・サーティーンクラブ**